

## 日本感情心理学会 2025 年度総会 議事録

日時：2025 年 10 月 25 日（土）17:40～18:30

会場：ライトキューブ宇都宮 大会議室 202

総合司会：有光 興記（理事長）

議長：木村健太（第 33 回大会実行委員会委員長）

議事に先立ち、2024 年度 第 33 回大会実行委員会委員長の木村 健太先生よりご挨拶をいただいた。その後、木村先生が議長として選出された。

### 【審議事項】

#### 1. 2024 年度の決算案

- ・有光理事長より説明があり、審議の結果、承認された。
- ・谷口監事・阿部監事より監査報告（代理：有光理事長）があり、正確かつ妥当であると認めたことが報告された。

#### 2. 2025 年度の予算案

- ・有光理事長より説明があり、審議の結果、承認された。

#### 3. 各種規程の改正について

- ・有光理事長より会則・細則・学術プログラム委員会規程の改正について説明があり、審議の結果、承認された。

### 【報告事項】

#### 1. 会勢報告

- ・稲垣事務局長より、資料に基づき、現在の会勢が報告された。

#### 2. 2024 年度（第 32 回）大会（大阪体育大学）の会計報告

- ・手塚常任理事（第 32 回大会実行委員会委員長）より、2024 年度（第 32 回）大会の会計報告がなされた。

#### 3. 各委員会報告

- ・学術プログラム委員会（年次大会／セミナー／出版）

稲垣事務局長（代理）より、資料に基づき、学術プログラム委員会活動および第 32 回大会のプレカンファレンス等についての報告が行われた。また、有光理事長より、本年度内にセミナーを開催する方向で検討中であることも併せて報告された。

- ・機関誌刊行委員会

各編集委員会からの報告とする。

- ・感情心理学研究編集委員会

藤村編集委員長より、編集委員会活動に関して、学会誌への投稿数および審査状況の推移、編集状況、編集委員（任期満了、新規就任）などについて報告があった。また、第 32 巻優秀論文賞の選考プロセスを進めていることが報告された。そのほか、即時オープンアクセス方針への対応について、早期公開を行いたい旨の審議依頼があり、審議の結果、承認された。また、「J-STAGE 投稿審査システム」の終了および新たな運用・利用要件での再スタートについて情報提供があり、2027 年 9 月にサービスが終了することから、今後の検討が必要であることが報告された。

- ・エモーション・スタディーズ編集委員会

蔵永委員長より、編集委員会活動に関して、ES の発行状況、編集状況編集委員（任期満了、新規就任）などについて報告がなされた。また、特集の企画応募を促すため、学会ホームページの応募要項を加筆予定であることが報告された。

- ・倫理委員会（樋口）

最近の研究倫理に関する動向について情報提供があった。

## 5. 来年度以降の大会開催

- ・有光理事長より、2026 年度に開催される大会について、名称を「第 44 回日本生理心理学会大会・日本感情心理学会第 34 回大会合同大会」とし、大会実行委員会委員長は大平英樹先生（名古屋大学）、会期は 2026 年 4 月 24（金） - 26 日（日）とすることが提案され、承認された。また、2027 年度（第 35 回）大会は広島修道大学（大会実行委員会委員長：中西大輔先生）で開催予定であることが報告された。最後に、2026 年度大会（第 34 回大会）実行委員会委員長の大平英樹先生よりご挨拶があった。

### 【表彰関係】

- ・木村先生より、各賞の授賞者について報告がなされた。

- ・優秀論文賞：

小宮 あすか先生・溝川 藍先生・後藤 崇志先生（対象論文は以下のとおり）

後悔の経験・予期・利用能力の発達（第 31 巻 1 号）

松本 美涼先生・尾形 明子先生（対象論文は以下のとおり）

持続的注意と定位反応と実行注意の 3 要因の交互作用と社交不安の関連（第 31 巻 2 号）

- ・学術貢献賞

向井智哉先生（対象論文は以下のとおり）

27 巻 3 号：（向井智哉・松木祐馬）厳罰傾向と犯罪者および被害者に対する感情的反応との関連—犯罪不安、怒り、共感に着目して—

30 巻 3 号：（向井智哉・貞村真宏・湯山祥・松木祐馬・綿村英一郎）特定少年への量刑に対する実名報道の効果

32 巻 1 号：（向井智哉・湯山祥・新井忍・松木祐馬・貞村真宏・小泉瑠璃）刑事裁判判決文における各種感情への言及

松本祐馬先生（対象論文は以下のとおり）

27 巻 3 号：（向井智哉・松本祐馬）厳罰傾向と犯罪者および被害者に対する感情的反応との関連—犯罪不安，怒り，共感に着目して—

30 巻 3 号：（向井智哉・貞村真宏・湯山祥・松本祐馬・綿村英一郎）特定少年への量刑に対する実名報道の効果

32 巻 1 号：（向井智哉・湯山祥・新井忍・松本祐馬・貞村真宏・小泉瑠璃）刑事裁判判決文における各種感情への言及

山本晶友先生（対象論文は以下のとおり）

26 巻 3 号：（山本晶友・樋口匡貴）受け取った恩恵の相対的な大きさが感謝に及ぼす影響—他者が受け取った恩恵を比較対象として—

30 巻 2 号：（山本晶友・入江ひとみ・大石有里花・上杉優・樋口匡貴）謝罪型感謝「すみません」の起こりやすさにゼロサム信念が及ぼす影響

31 巻 2 号：（山本晶友・三沢悠貴・鈴木蓮・富澤茉衣・植田綾那・上坂千春・樋口匡貴）利益提供者の非道徳性に対する感謝の感受性—Yu et al.(2022) の事前登録付き概念的追試—

#### ・大会発表賞

- ・優秀研究賞：石川 直樹先生（共著者：梅田 聡先生）

題目：顔のほてりに対する内受容感覚と他者の感情強度の評定との関連性

- ・優秀研究賞：上田 真由子先生（共著者：武内 寛子先生・和田 一成先生・臼井 伸之介先生）

題目：感情表出の事前実施が緊急事態時の行動を改善させる

- ・若手優秀発表賞：荒川 玲音先生（共著者：関谷 大輝先生）

題目：あなたの「ありがとう」はワンコインで姿を変える—商業的サービス利用時における顧客の感謝と負債感情に関する検討—

- ・若手優秀発表賞：隅田 莉央先生（共著者：清水 佑輔先生・村本 由紀子先生）

題目：選択式問題で生じた後悔がその後の学習に及ぼす影響—フィールド実験による検討—

#### 6. その他

報告事項で、選挙管理委員会委員長の小川時洋先生から理事選挙の報告をいただく予定であったが、議事進行の不手際でご報告をいただくことができなかった。小川先生には大会中に、会員にはメーリングリストでお詫びと選挙結果の報告を申し上げ、総会での報告に替えることとした。

以上